

ようこそ、東部の英語の世界へ！ ～外国語教育コア・スクール実践研究指定校(室戸市立羽根小学校・室戸市立羽根中学校の取組～

平成26年度から、外国語教育コア・スクール実践研究の指定を受け、学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた指導方法及び学習評価の工夫改善、教材開発などの実践研究を行っている室戸市立羽根小学校、室戸市立羽根中学校の公開授業が、平成27年11月17日(火)、12月8

日(火)にそれぞれ行われました。コア・ティーチャーである田川真由美教諭(羽根小)と那須磨知子教諭(羽根中)の授業で印象的なのは、児童生徒が笑顔で、生き生きと英語を使ってコミュニケーションを取っている姿でした。その時の様子をご紹介します。

羽根小

「言いたくなる」、「聞きたくなる」活動でいっぱい！

アルファベットクイズ

I got it!!
"R"



どの児童も、自分たちが知っているアルファベットを当てようと、「I got it!」と言いながら、次々と手を挙げています。児童の知的好奇心をくすぐりながら、英語使用の必然性をもたせた活動でした。

背中の絵は何？クイズ



田川教諭は、積極的に英語を話すモデル例となつて、T2と仲良くやり取りをする姿を示します。

児童も、モデル例のように英語でのコミュニケーションを楽しんでいますね。



羽根中

‘英語で何ができるようになるか’ 単元ゴールに向かって、英語をたっぷり使う時間に浸ってます！

単元ゴール “高知家・まるごと東部博”のお勧めの旅行プランを企画し、ALTIに東部の良さをアピールする。

- 本時までには、
- ①お勧めスポットの情報を集める。
 - ②マッピングで情報を整理する。
 - ③フォーマットを使って紹介文を作成する。
 - ④毎時のウォーミングアップでは、ペアで紹介方法を練習する。

- 本時では、
- ①チーム会で紹介の仕方を最終確認(練習)する。
 - ②他の全てのチームに、写真を見せながら紹介する。
 - ③即興で、質問したり、答えたりする。

生徒全員が、ゴールを達成できるための細やかな手立ですが、あらゆる場面で見られました。

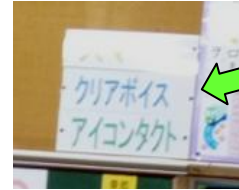


自分たちが選んだお勧めスポットを仲間に紹介する活動を繰り返し行うことで、後半は英語がスラスラと言えるようになっていました。

那須教諭は、活動の途中で、中間評価を入れ、目指す姿(単元ゴール)を、生徒と共に確認していきます。



スムーズな小中のつながり



コミュニケーションする上で、大事にしたいポイントが共通していますね。小中を通じて、同じ指導を継続することで、積極的なコミュニケーション態度が着実に育成されます。



参加者の感想

羽根小

英語学習へのモチベーションを高めるための環境づくりを、学校組織全体で行っているということが参考になりました。

担任だからこそ、温かい関わりのある外国語活動になるのだと感じました。

担任が英語を使おうとするモデルとなるよう、クラスルームイングリッシュを使うことが大切なんだということが勉強させていただきました。

羽根中

教師として時代の流れをキャッチし、子どもたちを育てる為に、追求し続けようとする先生の姿に、パワーと勇気もらいました。

いかに生徒に英語を活用しながら活動させるのかということに視点を置いた授業を展開され、とても勉強になりました。

単元で「付けたい力」が明確であったこと、また、生徒の自立した学び、協働的な学びとなる指導を行うことの重要性、必要性を感じた授業でした。